



2025年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月16日

上場会社名 株式会社ALINKインターネット 上場取引所 東
コード番号 7077 URL https://www.alink.ne.jp/
代表者 (役職名)代表取締役CEO (氏名)池田 洋人
問合せ先責任者 (役職名)取締役CFO (氏名)高杉 雄介 (TEL)03(6907)0158
四半期報告書提出予定日 2024年7月16日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第1四半期の連結業績(2024年3月1日~2024年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第1四半期	187	—	△3	—	1	—	30	—
2024年2月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2025年2月期第1四半期 30百万円(—%) 2024年2月期第1四半期 —百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第1四半期	16.74	16.19
2024年2月期第1四半期	—	—

(注) 当社は、2025年2月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2024年2月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率を記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期第1四半期	1,740	1,633	93.9
2024年2月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2025年2月期第1四半期 1,633百万円 2024年2月期 —百万円

(注) 当社は、2025年2月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2024年2月期の数値を記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年2月期	—	—	—	—	—
2025年2月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の連結業績予想(2024年3月1日~2025年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	390	—	△36	—	△32	—	0	—	0.10
通期	784	—	△68	—	△60	—	△34	—	△19.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
新規 1社(社名)株式会社エンバウンド、除外 1社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年2月期1Q	2,136,900株	2024年2月期	2,136,900株
② 期末自己株式数	2025年2月期1Q	330,068株	2024年2月期	342,068株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年2月期1Q	1,797,702株	2024年2月期1Q	1,794,832株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、当第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っていません。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進み、個人消費の回復やインバウンド需要の拡大などで緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、金利や為替変動による内外経済の先行きや物価上昇の長期化などの要因もあり、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻くインターネット広告市場におきましては、2023年のインターネット広告費は前年比107.8%の3兆3,330億円となり、継続的に成長を続けております（出典：株式会社電通「2023年日本の広告費」）。

このような状況のなか、当社グループは“未来の予定を晴れにする”を経営理念として、主力サービスである天気予報専門メディア「tenki.jp」を一般財団法人日本気象協会との共同事業として運営しております。

tenki.jp事業においては、安定的なPV(ページビュー)数の増加とPV当たり広告単価の維持に取り組んでまいりました。

また、2024年5月10日に株式会社エンバウンド（以下、「エンバウンド」という。）の株式を取得し、完全子会社化いたしました。エンバウンドは地域活性化プロジェクト「温泉むすめ」のコンテンツプロデュースを行っており、全国の温泉地との取引関係を発展させてきたことから、地域経済とユーザーを繋ぐハブ機能を担うことができる等の優位性を有しております。なお、エンバウンドにおいては、みなし取得日を2024年5月31日としているため、当第1四半期連結会計期間においては貸借対照表のみを連結しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高187,328千円、営業損失3,427千円、経常利益1,883千円、親会社株主に帰属する四半期純利益30,095千円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

(tenki.jp事業)

当第1四半期連結累計期間のPV数は、前年同期比109.2%の15億PVとなり、堅調に推移いたしました。また、PV当たり広告単価は、依然として低迷基調となりましたが、前年同期比98.1%となりました。

費用面に関しては、将来の売上高及び利益の向上を目的として、新たな収益モデルの構築に向けた人件費や開発費等の先行投資を行っております。また、「tenki.jp」の認知度向上施策として、テレビドラマ「ブルーモーメント」との番組連動CMを放映しております。

この結果、売上高163,782千円、セグメント利益60,391千円となりました。

(IPプロデュース事業)

当第1四半期連結会計期間において、「温泉むすめ」のコンテンツプロデュースを行う株式会社エンバウンドの全株式を取得し連結の範囲に含めたことにより、「IPプロデュース事業」を開始いたしました。当第1四半期連結会計期間においては、貸借対照表のみを連結しておりますが、株式を取得したことによる取得関連費用25,000千円が発生し、セグメント損失25,000千円となりました。

(その他の事業)

その他の事業では、主力であるtenki.jp事業以外の事業領域の拡大のため新規事業への参入を図っており、太陽光コンサルティング事業及びダイナミックプライシング事業を進めております。太陽光コンサルティング事業につきましては、太陽光発電設備のセカンダリー市場において、一時的に太陽光発電設備を保有することにより、売電収入を得ております。また、ダイナミックプライシング事業につきましては、当該事業に先立つPoC（実証実験）として、首都圏においてレンタルスペースの運営を行っております。

この結果、売上高23,546千円、セグメント利益11,803千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、1,740,481千円となりました。

流動資産は1,426,297千円となり、主な内訳は、現金及び預金757,365千円、短期貸付金408,836千円、売掛金及び契約資産200,120千円であります。

固定資産合計は、314,183千円となりました。主な内訳は、のれん243,880千円、投資不動産20,016千円であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、106,494千円となりました。

流動負債は100,797千円となり、主な内訳は、買掛金22,051千円、未払法人税等27,382千円、契約負債19,749千円であります。

固定負債は5,696千円となり、内訳は資産除去債務であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、1,633,986千円となりました。

主な内訳は、利益剰余金1,648,495千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の業績予想につきましては、2024年4月12日に公表いたしました連結業績予想から変更はございません。今後の事業動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間 (2024年5月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	757,365
売掛金及び契約資産	200,120
商品	1,014
貯蔵品	1,682
短期貸付金	408,836
その他	57,279
流動資産合計	1,426,297
固定資産	
有形固定資産	20,999
無形固定資産	
のれん	243,880
無形固定資産合計	243,880
投資その他の資産	49,303
固定資産合計	314,183
資産合計	1,740,481
負債の部	
流動負債	
買掛金	22,051
未払法人税等	27,382
賞与引当金	600
その他	50,762
流動負債合計	100,797
固定負債	
資産除去債務	5,696
固定負債合計	5,696
負債合計	106,494
純資産の部	
株主資本	
資本金	138,087
資本剰余金	173,851
利益剰余金	1,648,495
自己株式	△326,582
株主資本合計	1,633,852
新株予約権	133
純資産合計	1,633,986
負債純資産合計	1,740,481

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自2024年3月1日 至2024年5月31日)
売上高	187,328
売上原価	75,575
売上総利益	111,753
販売費及び一般管理費	115,180
営業損失(△)	△3,427
営業外収益	
受取利息	6,036
その他	2,038
営業外収益合計	8,075
営業外費用	
不動産賃貸費用	2,762
その他	2
営業外費用合計	2,764
経常利益	1,883
特別利益	
保険解約返戻金	54,354
特別利益合計	54,354
税金等調整前四半期純利益	56,238
法人税、住民税及び事業税	25,247
法人税等調整額	895
法人税等合計	26,142
四半期純利益	30,095
親会社株主に帰属する四半期純利益	30,095

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自2024年3月1日 至2024年5月31日)
四半期純利益	30,095
四半期包括利益	30,095
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	30,095

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	tenki.jp 事 業	IPプロデュ ース事業	その他の事 業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	163,782	—	23,546	187,328	—	187,328
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	163,782	—	23,546	187,328	—	187,328
セグメント利益又は損失 (△)	60,391	△25,000	11,803	47,195	△50,622	△3,427

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△50,622千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に、各報告セグメントに帰属しない役員及び管理部門に係る人件費、経費等の一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

2024年5月10日に株式会社エンバウンドの株式を取得し連結の範囲に含めたことに伴い、当第1四半期連結累計期間においてのれんが235,760千円増加しております。なお、当該のれんの金額は、当第1四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的な会計処理によって算定された金額であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは従来、「tenki.jp事業」の単一セグメントとしておりましたが、当第1四半期連結会計期間より株式を取得し子会社化した株式会社エンバウンドを連結の範囲に含めたことに伴い、報告セグメントに「IPプロデュース事業」を追加しております。また、「tenki.jp事業」における新規事業開発を各セグメントから切り離し、新規事業開発の解像度を向上させることを企図し、新たに「その他の事業」を報告セグメントに追加いたしました。なお、「その他の事業」は、ダイナミックプライシング事業及び太陽光コンサルティング事業であります。